

国内・県内の健康経営 健康経営の動向

企業の「健康経営」の取組が見える化

健康経営に取り組む優良な法人を差別化するために認定制度が設けられています。認定制度は従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標としています。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

健康経営の取り組みを社会的評価に 「健康経営優良法人認定制度」とは



「健康経営優良法人認定制度」とは、経済産業省が認定している、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。健康経営優良法人認定の種類は5つあり、**ホワイト500・ブライツ500は、部門（大規模法人・中小規模法人）の中から優れた上位500法人に与えられる認定**です。

【健康経営優良法人 選定要件】※経済産業省HPより抜粋

経営理念・方針

- 健康宣言の社内外への発信
- 経営者自身の健診受診

組織体制

- 健康づくり担当者の設置
- (求めに応じて)40歳以上の従業員の健診データの提供

制度・施策実行

- 従業員の健康課題の把握と必要な対策の検討
- 健康経営の実践に向けた土台づくり
- 従業員の心と身体の健康づくりに関する具体的対策

評価・改善

- 健康経営の取り組みに対する評価・改善

法令厳守・リスクマネジメント

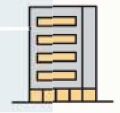
- 定期健診の実施、50人以上の事業場においてストレスチェックを実施していること、労働基準法または労働安全衛生法に係る違反により送検されていないこと、等



2024年	ホワイト500 (大企業部門)	優良認定 合計
全国	500社	2,488 社
沖縄	6 社	7 社



2024年	ブライツ500 (大企業部門)	優良認定 合計
全国	500社	16,233 社
沖縄	7 社	102 社



※2024年12月現在（ACTION！健康経営サイトより）

企業価値の向上を重視する投資家へ向けて情報発信

「健康経営銘柄」とは



27業種 53社
(2024年健康経営銘柄)

健康経営銘柄とは、経済産業省と東京証券取引所が共同で、特に優れた健康経営に取り組む上場企業を認定・公表（原則1業種1社）し、ESG投資や長期的な企業価値向上を重視する投資家に対し魅力的な企業として紹介することで、健康経営の取り組みの更なる促進につなげることを目的とした制度です。

「健康経営」の取り組みを通じて、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上につながることを期待されており、経営から現場まで各視点から健康の取組が行われているかを評価するため、様々な観点から評価を行います。